

# とやま市P連

広 報

No.76



## 第62回東海北陸ブロックPTA研究大会

『みまもる目・さしのべる手・つつみこむ愛』  
～いま、子どもたちへ～



### 目次

東海北陸ブロックPTA研究大会 富山大会 .....	P2、3
子どもの安全 あなたの街は大丈夫?PART 2 .....	P4、5
PTAこんなことやってますPART 2 .....	P6、7
市P連各委員会の事業 .....	P8

# 「みまもる目・さしのべる手・つつみこむ愛」～いま、子どもたちへ～ 第62回東海北陸ブロックPTA研究大会 富山大会

富山県では7年ぶり、富山市では19年ぶりに行われたPTA研究大会。13日(金)富山国際会議場と富山全日空ホテルを会場に6つの分科会に分かれ、テーマに沿った熱心な討議が行われました。14日(土)には富山オーバードホールで全体会とNHKアナウンサー村上信夫氏の記念講演「おやじの腕まくり」が開催されました。両日とも3000名を超えるPTA会員が参加し、大盛況に終わりました。その大会を振り返ってみましょう。

## 第一分科会 組織・運営



名古屋市長松小からは、子どもたちと楽しみながら活動できるPTA活動として、地域の夏祭りへの参加と読み聞かせ活動が紹介されました。芳野中からは、まず行動、まず実行、なんせやらんまいけ、失敗を恐れずに出来ることから始めよう!との提言があり、会場の共感を得てました。パネルディスカッションでは、子どもと共に学び成長するPTAの重要性と合わせてPTAの運営は経営と同じ、人を思いやる気持ちがないと組織は動かないとの提言がありました。また、愛、信頼をキーワードに白熱した議論がなされました。

## 第二分科会 家庭教育



「いま親として、家庭か教育の原点であることを認識し、家の教育力を高めよう」をテーマに慎重に討議が行われました。福井県開成中からのPTAが自作自演のホームドラマを文化祭で演じる活動が報告され、家庭教育に対する創意と熱意ある活動に会場が沸きました。大島小では、足の不自由な児童に山を見せたい!と立ち上がったその成果が会場に感動を与えました。パネルディスカッションでは、家庭教育の目指すところは、子どもの自己評価(自分は生きている価値がある)の発見と向上であるとの提言がありました。

## 第三分科会 学校教育



学校内または学校行事を活動の主体としてきたPTA活動は今、学校教育の変化に対応し、学校への支援体制の改革や新たな活動形態が求められています。学校教育は家庭教育、社会教育なしにはすべからず語れません。学校はPTAに何をしてくれるのかではなく、PTAとして学校に何を求めているのかを考え、学校を支援し、地域とのパイプ役となって活動することが求められています。また、家庭教育をしっかりとすることに、変化の激しい学校教育に対応できる子育てにつながることを確認しました。

## 第四分科会 地域教育



テーマにある「希薄になりつつある地域の役割」という言葉とは無縁のような発表校の力強い活動内容に会場から感嘆の声が聞かれました。富山が発信しようとしていた「あたたかな目と手の集団」としての地域の役割と、その機能が世代を超えて引き継がれていくことが地域教育の大切な土壌であるメッセージは伝わったようです。「パネルディスカッションではおやじの会の取り組み紹介を皮切りに、地域との関わり方、その壁を取り除く方法等活発な討議が行われました。今、地域を動かし共に歩み、継続的に地域の中で育ち地域に適した活動をするPTAが求められています。

## 第五分科会 食育と健康



♪お魚啜えたら猫追っかけて♪お馴染みサザエさんのテーマから第五分科会は始まりました。発表会では、理想の家族の食事像をサザエさんの家庭に求めた実践例やアンケート結果の分析が報告されました。パネルディスカッションでは、食育という幅の広いテーマに対し、語らいのある食卓、心身の栄養に満ちた朝食など私達がいつの間にか見失った食事への感謝の心を伝えていくことの大切さを共有しました。

## 第六分科会 安全と安心



会場前では発表校の担当者が「環境マップ」や「活動パネル」の展示と説明を行い、他の分科会参加者も含め人だかりができるほどでした。実践研究発表では、マップ作りやパトロールの実施に当たった作業手順、地域・保護者・学校の連携、参加者の割り振り、活動についての保険対応などについて具体的な質問が飛び交っていました。ディスカッションでは地域の中の安全・安心の広がり、PTAは何をすればいいのかについて活発な討議が行われました。

## 全体会・記念講演



オープニングでは、八尾小・中学校の生徒及びPTAによるおわら踊りが披露され、会場の出席者からは幻想的で優美な舞に大きな拍手が起りました。次に、NHKアナウンサーの村上信夫さんを講師に迎え、「おやじの腕まくり」と題して記念講演が行われました。村上さんはアナウンサー一年目を富山でスタートされたこともあり、当時の思い出も含めてお話しされました。「おやじの腕まくり」と名付けられた地域での活動紹介は、参加者の、今後の活動への取り組みに大いに役立つものと思えます。式の終わりに、来年度開催地、岐阜県西濃地域の実行委員会より来年度のスローガンが発表され、西濃での再会を約束しました。

## 大会を終えて



さわやかな秋晴れに恵まれ、富山が誇る立山連峰を臨みながら、第一日目は、各分科会に別れ白熱した議論が交わされました。第二日目は、哀愁あるおわら踊りによるオープニングで始まり、記念講演ではおやじの役割の重要性について認識させられました。この大会が大きな実を結び、よりよいPTAとしての改革と実践が行われるものと確信しています。本大会に際し、たくさんの方々にご協力をいただき感謝を申し上げますとともに、会員各位のますますのご健勝を念願しております。

## ▼舞台裏▲



会場はこちらです



スタツツ并当

おいしゅうございました



号外で～す

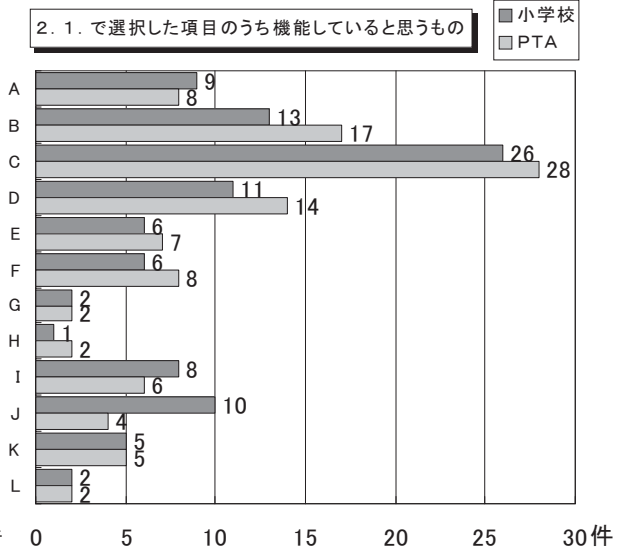
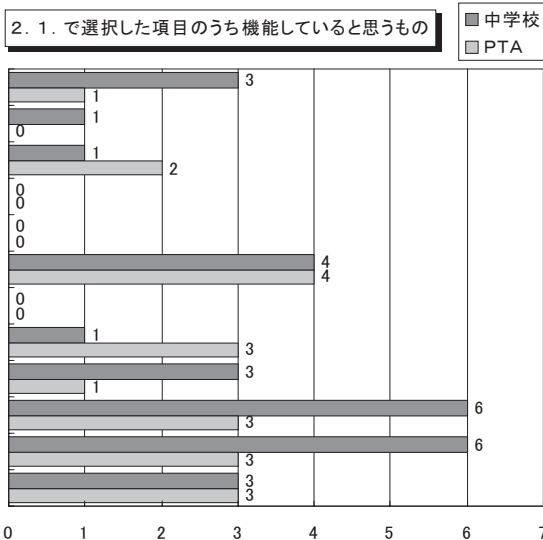
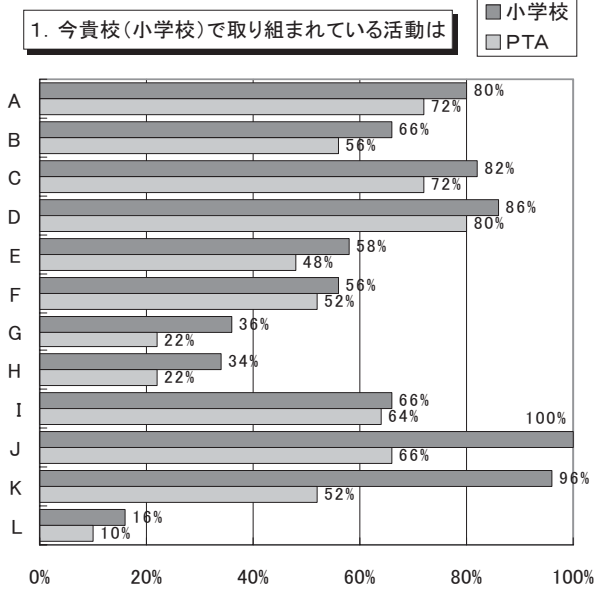
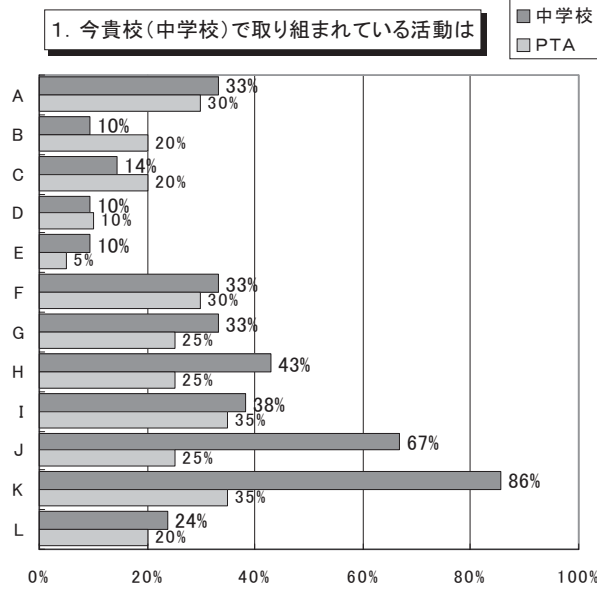
# 小中学校安全活動アンケート結果

富山市P連広報委員会では、子供たちの安全を守るための活動状況について、アンケートを実施しました。  
アンケートは、富山市内の小中学校、およびPTAに回答を依頼しました。  
その結果、小学校は五十一校、中学校は、二十一校から回答を頂きました。  
アンケートは、それぞれの活動項目に対してどのように取り組んでいるか、あるいは活動状況をどのように評価しているかについて回答していただきました。  
活動項目については左表の通りです。

項目	内容
A	子ども110番の家(店)の整備拡充
B	通学時見守り隊の活動(PTA主体)
C	同上(振興会など、PTA以外が主体)
D	集団登校
E	集団下校
F	地域安全パトロール隊の活動
G	行政、警察によるパトロールの強化
H	地域防犯マップの浸透
I	地域安全マップによる危険回避の教育
J	子どもたちへの防犯教育
K	登下校時の街頭での交通安全指導
L	その他

中学校からの回答結果 総回答数21校

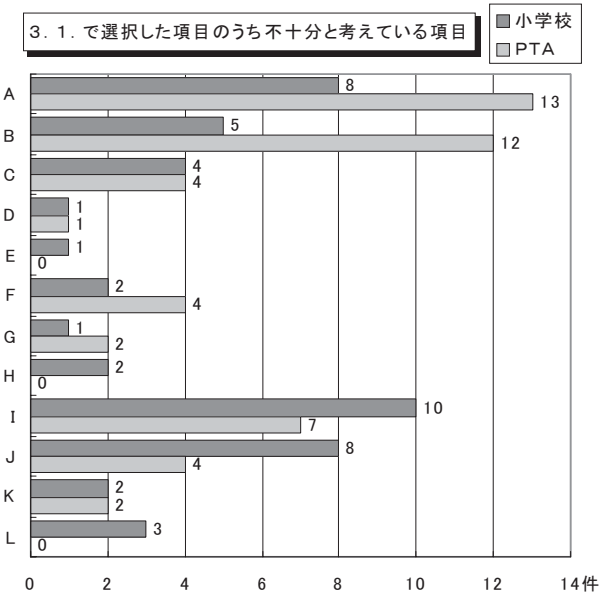
小学校からの回答結果 総回答数51校



# 子どもの安全

# あなたの街は大丈夫ですか？

## 安心して子どもを送り出せますか？



注 中学校はサンプル数が少ないため割愛しました。

## アンケート結果に対する分析

設問1では、各活動の取り組みについて、PTA側の認識は学校側に比べて低い傾向が見られました。  
言い換えれば、学校側では取り組んでいるつもりだがPTA側はそこまで思っていないということになります。  
また中学校の回答の中でも小学校区での活動と重なる部分も多いため、認識の違いが、しかし各校ともできる限りの安全活動に対する取り組み

をしていることが感じられる結果でした。

設問2では、小学校の安全活動全般について、地域やPTAの取り組み(とりわけ通学時の見守り隊活動)は機能していると思われる件数が多いです。

しかし、設問3では、とりわけPTAの側に、その機能しているとする割合の高い、「見守り隊活動」が不十分であり、更に強化したいという意思が認められました。

## 地域との連携事例紹介 豊田小学校教育友会

豊田小学校では、今年の夏休みを利用して、「豊田っ子SOSの家 スタンプラリー」を実施しました。SOSの家に設定されている商店、一般家庭の方々に協力いただいて、それぞれのスタンプや印鑑を押しもらうなどしました。子供達にとっては遊びながらやっているようであっても「設置場所の認識」「いざという時に入りやすくなる」というのを頭と体で体験出来たのではないかと思います。

そして今回の活動後の、子供達へのアンケートの一部をご紹介します。  
「SOSの場所がこんなにたくさんあるとは思わなかった」  
「いろんな場所へ行って、いろんな人と仲良くなれました」  
「探しに行くのは大変だったけど、終わったら嬉しい気持ちになりました」  
「みんな知らない人だけど声をかけると嫌がらずにやってくれたので嬉しかったです」  
「他にもいっぱい感想をもらって、期待以上の成果があったと思います。これからも、地域の人達を巻き込んでさらに深く取り組みたいと思います。」



SOSの家でスタンプを押しもらいます

## 子どもを安心して送り出す

今回はアンケートによる意識と実態の調査結果を掲載させていただきます。

その中ではみなさんのご苦労と奮闘ぶりがありありとわかりました。どこの地域でも学校・保護者・地域がそれぞれに、精一杯の取り組みをなさり、子どもの安全を第一に考えて活動を進めておられます。地域安全マップや、通学安全ボランティアの拡がりは何よりもその事を証明する結果となりました。

しかし、アンケートを通じて、学校と保護者の認識や意識の違いがあったことも確かです。

学校・保護者・地域の三者が共通した認識をもとに、同じテーブルにすることが求められています。

「子どもの安全」を含めた「地域で子どもを育てる」さまざまな取り組みが、もうすでに各学校でも始まっています。

学校・保護者・地域の共同の取り組みのさらなる発展を願っています。



鵜坂小PTA

鵜坂小PTAでは、五月におやじの会『プロジェクトO』を結成し、その記念すべき第一回目の親子行事として八月二十日に『魚つかみ&炭火焼大会』を開催しました。おやじ達によって、グラウンドに手作りされたプールに子どもたちは大はしゃぎ。水しぶきをあげながら思い思いの魚を追いかけました。また、自分で捕まえた魚を焼いて食べるという貴重な体験から、「生き物をいただく」命の尊さを学びました。青く澄みきった夏空の下、子どもたちの笑顔が輝いた一日となりました。当PTAでは、父親とのふれあいを大切にする意味でも、今後も積極的にこの活動に取り組んでいきます。



東部小PTA

八月二十七日ボランティアを含め百名参加のもと『親子でナイトウォーク』が開催されました。大川寺駅から東部小学校まで十五kmの道のりを、親子で語り合いながら、自然豊かな常願寺川沿いを歩きました。途中休憩地点をもうけ、フルランクフルト等、エネルギーを補給をし、ゴールを目指しました。全員無事元気にゴールし、手作りのおにぎりと、豚汁をお腹いっぱいいただきました。



柳町小PTA

十月二十九日、第三十二回あおやぎフェスティバルを開催しました。例年実施しているバザー・飲食・子どもコーナーの他に、今年は「身近にある有用物の発見」をキーワードに、使用済みプリンターカートリッジと廃食用油の回収に取り組みました。カートリッジは二〇八個（ベ



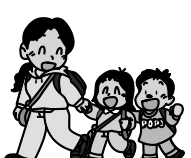
長岡小PTA

十一月五日(日)青空の下『長岡っ子ウォーキング大会』が開催されました。自治振興会、体育協会からの参加も多数あり、子どもたちを含めて、およそ三五〇名の参加者は、北代緑地公園を起点に、堅穴式住居が復元された縄文広場、できたばかりの呉羽植物園、富山市街地を見下ろす桜の丘展望台など、長岡校区内の名所を訪ね歩いて北代緑地に戻る、およそ五kmのコースを歩きました。途中の休憩場所では、身体に関するクイズや運動を行い、年齢を超えて楽しめる行事となりました。



大久保小PTA

大久保小学校育成会では十月二十九日(日)に、毎年恒例の『大久保っ子まつり』を開催いたしました。『大久保っ子まつり』はバザー、お餅つき、お祭ひろばの三つのコーナーがあり、どれも大盛況でした。バザーは洗剤やタオルなどの日用品を販売する大人向けのコーナーとぬいぐるみやおもちゃを販売する子ども向けのコーナーがあり、販売員を相手に値切る子どももいました。餅つきは地域の方々にお手伝いをしていただき、予定時間より早くお餅がなくなりました。お祭ひろばはストラックアウト・くじ引きなど六種類のゲームが楽しめ、どれも長蛇の列でした。



PTAこんなことやってます

日国中PTA

「あさかげ」通信 2009年度 第5号 2009.10.12発行 発行所 日国中PTA 月刊中学校教育研究会発行

PART2



七月二十九日～三十日おやじ倶楽部を中心に「第一回学校DEキャンプ」を行いました。グラウンドに親子が協力してテントを張り、夕食は日赤奉仕団の方に災害時の炊飯方法を教わり、カレーを皆で作りました。暗い学校の探検は一年～六年までのグループで、お化けになったお父さんたちが



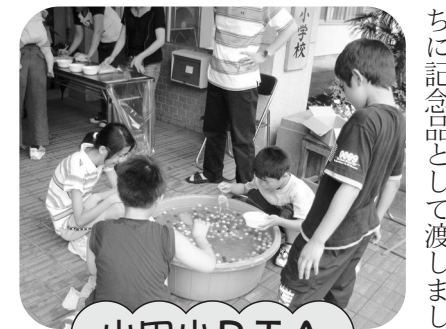
蛸川小PTA

が待つ校内を、怖いながらも協力してクイズに挑戦です。キャンプの解散式では「来年も参加したい人」の問いかけに「はい」と大きな歓声と手があがり親子ともに、楽しいキャンプとなりました。



水橋三成ブロック

水橋・三成ブロックPTA連絡協議会では、今年で六回目となる水橋町民演劇鑑賞会を行いました。ブロック内七校の小学校五・六年と中学校一・二年五〇〇名が鑑賞しました。脚本・演出・出演者全てが水橋にゆかりのある方ばかりか、児童・生徒・保護者の出演もあります。今回は、「べっかんこ鬼」「捜愛記」の二演目で、テーマは「いじめ」でした。時には地域の歴史を題材にした脚本もあったりで、郷土を愛する心や人のつながりを大切にする心を養っています。



山田小PTA

山田小学校では、毎年『親子ふれあい活動』として、学年ごとに竹細工、うどん作りや学校での宿泊、あるいは、全校で夏祭りやドッジボールなど親子が共に楽しめるゲーム・スポーツ・体験学習などを行っています。今年も、三学期から新校舎へ移転するため、「想い出深い今の校舎を楽しもう」ということになり、七月十五日(土)に全校児童及び保護者が、校舎内において、親子で考えるクイズ、スーパーパールすくいやくリップ落とし等を取り入れたオリエンテーリングを行いました。当日、校舎前で記念撮影をした写真を盾に入れ、「この校舎をいつまでも忘れないで欲しい」という思いで子どもたちに記念品として渡しました。



古里小PTA

「おはようございます。」と毎朝、元氣よく横断歩道を渡る子どもたち。「いってらっしゃい。」と見守る保護者のみなさん。古里小学校では、PTAが中心となり、朝の交通安全運動に三十年以上にわたって取り組んでいます。しかし、本校のPTAの役割は、安全指導だけではありません。「あいさつの声小さいよ。」「まっすぐ一列で歩かれ。」等と生徒指導的な役割も果たしています。そこには古里校区に住む一員として、「みんなで子どもたちを見守ろう」とする意識が見られます。安全指導用の赤い旗は、毎日、次の当番にリレーされ、そして、「明るくたくましい子ども」をみんな育てようとする気持ちもリレーしています。

「育友会会員の皆さんに、執行部の動きが見えているのか?」という疑問が事の始まり。「学校だより」はあるものの、育友会からの案内は行事を中心としたものになりがちです。まずは、執行部を中心とした動きや思いを伝えることから始めることとして、「学校だより」が『朝光だより』であるのに合わせて『あさかげ通信』と命名しました。情報発信が育友会活動を活性化する第一歩と考えています。同じ親としての思い・取り組みを、素直に発信し、育友会活動への関心を高めていければと思います。中学校のHPにも掲載をしています。

■会長情報交換会 総務委員会

七月一日、県民会館において会長情報交換会を開催しました。  
今回は、小学校四十七校、中学校二十四校という過去最高の参加校で行われました。

中学校分科会では、生涯学習の一環としての保・小・中連携や、メールマガジンでの情報発信、清掃登山などPTAや学校の特色のある取り組みが紹介され、学校とPTAの関係のあり方などが話し合われました。

小学校分科会では、各校で取り組まれている「おやじの会」の取り組み内容とその苦労や成果についての交流や情報交換。統一献立になってからの給

食への不満や期待なども含めた活発な意見交換が交わされました。



■中学生懇談会 生涯学習委員会

十一月十一日、市内中学校二十五校百名の参加のもと、「第4回中学生懇談会」が「人間関係―友だちに求めるもの・友だちのためにできること」をテーマに開催されました。

「友だちは要らないのではないか？」との問題提起の後、富山大学の学生の進行のもと、各分科会十人ずつに分かれて意見交換をおこないました。初めは自分から意見を言えなかった生徒たちもだんだん思いをはなせるようになり、有意義な懇談会になったと思います。

最後に全体会を行い、分科会ごとに発表を行った後、富山大学の稲垣助教より講評をいただきました。生徒たちからは、「やはり友だちは大切」「友

だちとの悩みが解決された」「今回のようにもっと他校と話し合える機会がほしい」などの意見ができました。



■市教委、小中学校長会との懇談会

八月二十三日の校長会との懇談では①長期休業の短縮②学校給食全市統一後の反応③個人情報取り扱いのガイドライン④子どもの安全対策の取り組み等について話し合われました。質問に対して校長会が応える形で行われ懇談と意見交換を行いました。

八月二十九日の市教委との懇談では①学校選択制②学校給食全市統一後の反応③市P連事務局のIT化④子どもの安全対策⑤PTA会費からの学校事業への補填などについて懇談しました。とりわけ学校選択の問題で多くの時間を割き、小規模校のデメリットなどへの配慮や、学校経営方針の情報発信などについて意見を交わしました。

■子どもたちの心と体の健康を考えるつどい

厚生・教育問題委員会

平成十九年一月二十七日(土) 開催予定

第一部/講演会

「今の時代を、心身ともに強く生き抜いていくためには」

基本的な生活習慣の確率を指摘して

講師/富山大学人間発達科学部教授 神川康子先生

第二部/パネルディスカッション

「人生の土台づくり〜食事、運動、睡眠週間を見直そう!」

コーディネーター 神川 康子

パネラー

小野寺孝一(富山大学医学部教授・スポーツ生理学)

三辺 真純(秋浦・奥田北小学校、栄養教諭)

高橋 功(射水市教育委員長職務代理)

野口 俊文(東部教育事務所主任指導主事)

子どもたちが心身ともに健康でいられるために、いじめ・不登校等、子どもたちをとりまく問題について、親として何をすればよいのか?を、毎日の身近な生活の中から考えるつどいです。ぜひご参加下さい。

編集後記

今年十九年ぶりの富山市でのPTA研究大会の年ということもあって、各単Pの皆様のご協力を得られましたことに、感謝申し上げます。  
広報委員会は、来年度もメンバーの協力と団結の下、精一杯がんばります。

平成18年度 広報委員会名簿

- 委員長 澁谷 諭(三 成 中)  
委員 佐藤 寿美(愛 宕 小)  
赤松 直美(龍 川 小)  
利田 由紀子(東 部 小)  
渡邊 秀昭(五 福 小)  
杉谷 光太郎(星井町五番町小)  
坂東 紀博(豊 田 小)  
山田 登志子(新 庄 小)  
守末 真哉(豊 田 小)  
黒田 章代(山中 小)  
今井 義明(柳 町 小)  
平野 菜穂子(清水 町 小)  
高柳 まゆみ(岡 岡 小)  
水野 紀之(長 岡 小)  
上田 康(水橋 東 部 小)  
富田 正吾(倉 垣 小)  
飯野 光史(新 保 小)  
山方 伸治(藤ノ木 小)  
清水 一彦(大 久 保 小)  
尾上 繁(久 保 小)  
山田 誠(八 尾 小)  
上田 善(杉 原 小)  
和泉 一善(鶴 尾 小)  
小沢 慎(城 山 小)  
竹内 潔(堀 川 小)  
深美 忠(古 田 小)  
高林 修(山 田 小)  
杉本 祐文(山 田 小)